

岡崎嘉平太記念館



Vol. 31

だより

まきび公園(倉敷市真備町)に建つ岡崎嘉平太氏揮毫の吉備真備記念碑



↑まきび公園内にある中国・西安と同じ碑。

←吉備真備記念碑に刻まれた嘉平太氏の字



記念碑に刻む文字を揮毫
昭和60年8月12日(1985)

吉備真備が1200年以上もの昔、遣唐留学生として学んだ中国西安市の「國子監」(今の大学に相当)跡に、昭和61年(1986)春、嘉平太氏の字が彫られた吉備真備記念碑が建立されました。この記念碑の建立場所の決定は難航しましたが、嘉平太氏や友人だった中日友好協会名誉会長王震氏の手添えにより日中両国民の祝福を受けて完成しました。

また同じ碑が倉敷市真備町のまきび公園にも建てられています。園内には中国式庭園や吉備真備のことが詳しく学べる「まきび記念館」



まきび記念館(入館無料)

等があります。今年10月にはこのまきび公園も含めて、嘉平太氏ゆかりの地の一部をめぐるバスツアーも企画しています。是非ご参加下さい。



まきび公園内の中国式庭園

吉備真備は、岡山県の倉敷市真備町、小田郡矢掛町周辺を中心に勢力を持った豪族、下道朝臣囀勝の子として695年に誕生。阿倍仲麻呂や玄昉等と共に遣唐留学生として唐の長安(現、中国西安市)に渡り、政治、経済、法律、数学、天文学等多方面にわたって修学し735年に帰国。学者、政治家として奈良時代の政治、文化の躍進に大きな貢献をしました。

第13回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

嘉平太氏が愛したふるさと岡山のよさを伝えたいという思いで、毎年公募による写真展を開催しています。今回の応募数は165点でした。4月15日(月)から6月17日(月)までは岡崎嘉平太記念館で展示し、8月6日(火)から11日(日)までは、岡山県天神山文化プラザ(岡山市)にて全ての作品を展示しました。3月24日(日)に、長瀬正己先生(山陽新聞社写真映像部)、森山知己先生(日本画家)、岡崎嘉平太記念館館長で厳正な審査をしました。入賞者及び作品は以下の通りです(敬称略)。



岡崎嘉平太記念館会場にて



【最優秀賞】最相 政実
「夫婦で育てる古代米」



【優秀賞】中原 廣明
「落陽」



【優秀賞】宮本 康雄
「暮れゆく梅園」

【審査員特別賞】

河口 毅、芝 次昇、
渡辺 真弓

【入選】奥野 昭雄、斎藤 雄幸睦、清水 ひろし、高橋 克美、竹部 ちどり、戸田 直子、
長尾 進、堀 紘治、柳田 愛子、山下 忠彦

表彰式での森山知己審査員による講評

「応募作品全体としては全体的なレベルアップには目を見はるものがある。このように岡山県のすばらしい風景が集まる写真展もそうない。新鮮な作品、バラエティーに富んだ作品ばかりであった。もう少し構図に気を使ってトリミングしてみると、格段に良くなる写真が数多くあった。最優秀賞はにこやかな表情と田に差し込んだ光の色合いが見事。夕暮れ時、女性の笑顔を手早く捉えている。みずみずしい作品。優秀賞の『落陽』は鬼ノ城西門に太陽が近く沈む中、山登りの人までひっそりと立つという出来すぎくらいの構図を、しっかりと捉えている。また『暮れゆく梅園』は夜間に自然と人工の光が交わり、梅の木の昼とはまた違った表情が鮮やかに浮かび上がった様子を上手く捉えている。そして審査員特別賞では七五三のお参りに来た子ども達が、境内を元気いっぱい飛び回る。そうした光景が普通に見られる神社が身近にあることの素晴らしさを感じさせる作品や朝霧の中で、山里の何気ない風景が光り輝いていて心癒やされる作品、写真が好きになってきて色々なことに挑戦しようとしている意欲やモノクロ写真の中に潔さも感じる絵画的な表現の作品がみられた。入選作品はどれもおもしろい作品であり、女性の写真技術のレベルが上がってきている。どれも上手く今後も頑張してほしい作品ばかりである。」との講評でした。



5月11日(土)の表彰式にて
森山知己審査員(前列左から四人目)と受賞者の皆様

中国各地で『岡崎嘉平太と中日関係』展巡回

昨年末(2018年12月)ANAと北京・清華大学の主催で、同大学の美術ギャラリーで開催された『岡崎嘉平太とT貿易』展の写真パネル等を中心とした上記展が現在中国の大学(北京大学、遼寧大学)等で巡回されています。



↑→北京大学での展示風景



← 遼寧大学での展示風景 →



岡崎嘉平太国際奨学財団第29期生来町 令和元年6月14日(金)

岡崎嘉平太国際奨学財団の第29期生5名と奥平事務局長、事務局の崎山さんが来町来館されました。同財団は、嘉平太氏の遺志を継承するためにANAが中心となり1990年に設立、以後毎年アジア諸国から日本留学を希望する優秀な青年を日本に招き支援を行っており、卒業生は100名を超え様々な分野、国々で活躍しています。当館には開館年度から毎年来館下さり、今年も嘉平太氏の出身校である大和小学校の児童と交流したり、嘉平太氏の碑が建つ大和山山頂で桜の植樹を行ったり、備前焼き体験をする等地元の方々と交流を深められました。



嘉平太氏の母校大和小学校での交流会



岡崎嘉平太氏墓所を墓参



大和山山頂で植樹



記念館来館風景

平成30年度 吉備中央町図画展

平成31年1月12日(土)から21日(月)まで県の児童生徒絵画展町審査会(小学生)及び赤磐ブロック審査会(中学生)



で佳作以上の賞を受賞した、町内の児童・生徒及び幼稚園児の優れた作品を展示しました。

第11回 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

2月22日(金)から3月3日(日)まで吉備中央町内全小学校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。町内10校から、94点の作品が寄せられ、小学校最後の思い出に制作した備前焼きや木彫のアルバム、色紙や習字等力作の数々を展示しました。



「嘉あちゃんの部屋」にて久成さんのどうぶつ組木展開催

平成31年2月22日(金)～3月24日(日)

吉備中央町にお住まいの久成和男さん(91才)は約10年程前から趣味で組木制作を始められ、電動糸ノコを始め様々な道具の改良を重ねるなど創意工夫を凝らしながら、数多くの組木細工を作成し、作品を気に入った方には気軽に差し上げてきたそうです。この度の展示では、久成さんの工房から日々生み出されるかわいらしい動物をモチーフにした組木細工の一部をご紹介します。



※「嘉あちゃんの部屋」はコミュニティづくりや地域振興などを目的として、主に町内の団体及び住民の方々に、学習の場、憩いの場、ふれあいのある場、作品発表の場を提供するための施設で、どなたでもお気軽にご利用できます。

わくわく科学塾を開催

令和元年6月13日(金)に「わくわく科学ランド」の藤本忠男先生にご協力いただき科学塾を開催、町内全校の小学生が集まりスライムや香り玉作り、皿回しや様々な実験や遊びを体験しました。



「絵手紙をかく会」を開催

7月31日(水)に「絵手紙をかく会」を開催。

地元の小学生を中心に約40人が集まり、大和公民館「絵手紙クラブ」の先生方に教えていただきながら作品に仕上げました。



新館長紹介

平成31年4月1日付けで着任いたしました、館長の河内章男でございます。実は4年前の平成27年度に1年間だけ当館の館長を務めさせていただいたことがござ



大橋洋治 ANAホールディングス(株) 相談役から贈られた立派な蘭とともに

います。3年間離れていたわけですがこの間も岡崎先生の事が気になり、小学生の時の転居先を総社市に探してみたり、100年前の後楽園での写真撮影場所を探してみたりいたしました。また、職場体験で訪れる中学生には「岡崎先生の言葉『人の身になって考えよう』『和顔愛語』を大切にしてください。」と話をしていました。岡崎先生の魅力をもっともっと多くの人に知っていただくべく、努める所存です。何とぞよろしくお願いいたします。

講演しました、ご来館下さいました

平成31年1月24日(木)に岡山県郷土文化財団評議員の河田啓子元館長が嘉平太氏の母校でもある県立岡山朝日高等学校で行われたボランティア講座で嘉平太氏の生涯や功績を紹介しました。また令和元年6月20日(木)には岡山県教職員の「退職互助御津支部」で河田元館長が講演、その後参会者の皆さんが来館下さいました。



平成31年4月に数日間にかけて吉備中央町「ふれあい荘」の皆さんが、令和元年6月16日(日)には放送大学歴史クラブの皆さんが来館下さいました。

吉備中央町内の小学校の児童や先生方が多数来館。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズなどで学習しました。当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかりと伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。

令和元年度秋の特別企画展

これからの催し

講演会

岡崎嘉平太没後30周年記念
岡崎嘉平太記念館令和元年度秋の特別企画展

岡崎嘉平太氏(左)と周恩来総理との会議
昭和49年8月1日(1974)北京・人民大会堂にて

日中国交正常化の礎 LT・MT貿易と岡崎嘉平太

2019.
9/22(日) ▶ 12/27(金)

岡崎嘉平太記念館 企画展示室 入館無料
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：毎週火曜日(但し10/22(火)は開館、翌23日(水)休館)
主催：(公財)岡山県郷土文化財団 岡崎嘉平太記念館

LT貿易(後のMT貿易)とは、太平洋戦争後中国と正式な国交がない状況下で、昭和27年(1952年)に結ばれた中華人民共和国と中国との国交正常化の礎として、半官半民の体制で日中貿易を担った一貫経営の貿易会社である。この貿易会社の卒業生が作成した529の岡崎嘉平太の伝記。また卒業生が作成した伝記、このLT貿易を基に建設された中国の貿易会社。この頃の企画展では、岡崎氏がLT貿易に関わったきっかけや経緯、そして実際にどのようなLT貿易が日中貿易の正常化に貢献したか等を紹介します。

beyond 2020

第18回

岡崎嘉平太がめざした 世界平和への道を考える 講演会

岡崎嘉平太没後30周年記念

「米中が対立する世界の中で
日本の立ち位置を考えよう」
日中経済協会 副理事長
岡本 巖氏
元外務省参事官

「苦悩する岡崎嘉平太
新史料と証言から見るMT貿易の実像」
成蹊大学 法学部教授
井上 正也氏
元外務省参事官

入場無料

令和元年
10/16(水) 13:30~16:00

【会場】岡山大学 創立五十周年記念館金光ホール

※お申し込みが必要です。
記念館までお問い合わせ下さい。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川
4860-6 きびプラザ内
TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066
HP <http://www.okazaki-kaheita.jp>
Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集します
皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。メールの方は上記「お問い合わせ」フォームから、またFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力下さい。